

横浜市青少年育成センター

1 施設の管理運営

青少年を理解し、青少年育成に取り組む指導者・育成者の養成及び青少年育成団体への支援や相談業務を通して、青少年育成に取り組む主体を支援する事業を実施しました。

利用団体数：5,143件／年

稼働率：75.7%(26年度：74.1%)

利用団体前年度比：102.5%

【開館日数・利用状況】 ※平成26年度から統計方法を変更（当日キャンセルを利用分として計上）

年度	開館日数	研修室・スタジオ		スタジオ 利用件数	印刷室 利用件数	物品貸出 利用件数	稼働率
		利用団体	利用人数				
25	338日	4,709件	61,121人	1,456件	584件	89件	69.4%
26	338日	5,020件	63,054人	1,497件	572件	36件	74.1%
27	339日	5,143件	64,686人	1,635件	637件	27件	75.7%

2 施設の主な事業

(1) 青少年を支える人材の育成（講座・研修、シンポジウムの実施）

第3期指定管理の最終年度として、青少年を支える地域人材の育成について、これまでの成果と課題を踏まえながら、講座・研修やシンポジウム、ネットワーク形成などに取り組みました。

3年目を迎えた「ユースコーディネーター養成研修」は、虐待や貧困等、青少年が抱える困難な課題を早期に発見し、地域の支援機関につなぐことができる人材を養成することを目的としています。今年度は「性的少数者（LGBT）」や「ひとり親家庭の支援」などの現代的な課題をテーマに取り入れ、各回定員を大きく上回る参加があり、関心の高さがうかがわれました。

青少年活動や組織運営に必要とされるスキルや考え方を学ぶ「スキルアップ講座」は、9講座10回実施しました。今年度は、活動を継続・充実をさせるためのスキルに焦点を当てた新規講座を企画・実施しました。特に、リーダー・マネージャークラスのスタッフが組織運営や人材育成の視点について学んだ「スーパーバイズの視点から」は、定員を大きく上回る申込みがあり、青少年活動に携わる人たちの課題が明らかになりました。

(2) 青少年育成活動等に関する情報の収集・提供（相談・情報提供など）

助成金や研修・施策情報などの青少年活動に役立つ情報発信は、インターネットによる発信のほか、窓口を訪れた人や相談対応がよりスムーズに行くような資料作成に力を入れました。

相談件数は、昨年度から減少となりましたが、引き続き困難な課題を抱える青少年関係の相談が目立ちました。また、H26年度に開始した指導者・育成者が団体を超えた横のつながりを作ることで、相互に支え合う関係づくりを目指す「よこはまユースゼミ」は、テーマごとの集まりのほか、「活動を始めたばかりの人」を対象に、経験別のゼミを実施しました。

会議室・スタジオ利用状況

Table showing monthly and total usage statistics for conference rooms and studios. Columns include month, number of days, total applications, and utilization rates for various categories like staff, general, and youth.

内訳

Detailed breakdown table for room and studio usage. It includes sub-totals for '研修室1' (Study Room 1), '研修室2' (Study Room 2), 'ミーティングルーム' (Meeting Room), '和室' (Washitsu), and 'スタジオ' (Studio), with monthly and daily data.

減免利用件数: 318件 (うちユース利用分 305件)

3 活動支援室利用状況

利用団体数 637件

- コピー機件数: 447件
印刷機件数: 181件
ラミネート件数: 9件

外貨出物品件数: 27件

4横浜市利用状況※項目「指導者」に含まれます

Table showing breakdown of usage by bureau: 総局 (Total Bureau), こども青少年局 (Children & Youth Bureau), 教育委員会 (Education Committee), and その他の総局 (Other Bureaus).

H27年度 育成センター施設管理業務報告

○建築物の保守管理

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
内部仕上げ	壁面・天井・床等	目視点検	1日1回以上		育成C

○空調・電気・消防設備等保守点検

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
空調設備	外観の状態	目視点検	1日1回以上		関内H
	自動運転盤の異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	電流値の適正	目視点検	1日1回以上		関内H
	モーターの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	回転音異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ファンベルトの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ドレンパンの異常の有無	目視点検	月1回		関内H
	フィルターの汚れ	点検・清掃	月1回		関内H
電気設備	受電設備	年次点検	年1回	9月14日	関内H
	配電設備	年次点検	年1回	9月14日	関内H
	蓄電池設備	年次点検	年1回	9月15日	関内H
消防設備	消防設備	機器・総合点検	年2回	9月、2月	関内H
中央監視装置	中央監視装置	本体・制御点検	年2回	7月、1月	関内H
エレベーター設備	エレベーター設備	月例点検	月1回		関内H
自動ドア設備	自動ドア設備	定期点検	年4回	6,9,12,3月	関内H

○環境衛生業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担	
環境衛生管理	空気環境測定		年6回(奇数月)	5,7,9,11,1,3月	関内H	
	水質検査		年2回	8、2月	関内H	
	害虫駆除	薬剤散布等	年2回	8、2月	関内H	
	受水槽清掃	物理的清掃	年1回	7月13日	関内H	
	残留塩素測定	試薬による点検	1日1回		関内H	
	高置水槽清掃	物理的清掃	年1回	7月13日	関内H	
	雑排水槽清掃	物理的清掃	年2回	8、2月	関内H	
		排水管清掃			特になし	関内H

○備品等の保守管理

項目	協定の内容	実績	分担
事務備品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C
消耗品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C

○清掃業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
日常清掃		日常清掃	1日1回以上		関内H
定期清掃	床清掃(洗浄・ワックス塗布)	ワックス塗布	年5回	6,9,11,2,3月	関内H
	照明器具清掃	照明器具、排気口清掃	年1回	2月22日	関内H
	ガラス清掃	ガラス清掃	年6回(奇数月)	5,7,9,11,1,3月	関内H

○保守管理業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
常駐警備		巡回警備	1日4回以上		関内H
機械警備		セコム	毎日(夜間)	警戒警備	関内H

A 青少年活動を支援する事業 あ 施設貸与

事業名	実施日	利用件数	利用人数	備考
1 利用者案内、利用相談、受付 ●会議室、スタジオ等の貸出 ・貸し出し、利用相談 ・育成団体登録時の相談実施	通年	5,143件	64,686人	・件数内訳) 青少年 467件 育成団体 1,474件 一般 2,916件 法人利用 286件 ・登録件数 348件 内訳) 青少年 30件 育成団体 75件 一般 243件
●HPによる情報提供	随時			・優先(抽選)予約状況(3か月前、毎月) ・スタジオ空室状況(2か月分・週1回更新および随時) ・スタッフブログ(利用促進の一環として月2回更新)
2 施設での活動支援、安全・衛生環境管理 ●非常用物品の確認・点検 ・各室非常灯の点検、救急箱の点検 ・部屋貸し出し時の避難経路案内	毎月 随時	—	—	・地震および火災時の対応 非常灯表示 ・HPによる案内(帰宅困難者一時 滞在施設) ・備蓄品の購入と保管(水、軽食)
●避難訓練の実施	①6/19 ②3/18 ③3/11	年3回	—	・利用者を交えた全体訓練を実施 ・中区防災訓練へ職員が参加
●防火対象物定期点検	11/9	年1回	—	・合格。中消防署へ報告。
●スタッフ救急研修	10/16	年1回	—	・AED講習会
●修繕等の実施 ・ピアノ調律(スタジオ、第1研修室) ・小破修繕(壁紙等)	①5/29 ②1/26 随時	年2回	—	
3 利用者サービス向上のための取り組み ●活動支援室(プリントルーム)事業	通年	637件	—	印刷機/コピー/ラミネートサービス 製本作業等の活動支援事業
●館外貸出物品事業(着ぐるみ)	通年	27件	—	
●利用サービスの検証・向上 ・広報紙「馬車道通信」の発行	毎月	12回	月1回発行	*編集はコーディネーターが担当 館内掲示、配架、HPに掲載
●利用者アンケートの実施	11/19～ 12/13	135件 (回収)	—	・利用状況や利用のきっかけ、サービス等について調査。
4 利用促進事業 夏休み事業「きずな★夏祭り」 ・参加費：無料 ・横浜市町内会連合会(市民局)と共催	8/18・19	1回 (2日間)		夏期を利用し、日頃利用が少ない層(親子または青少年団体)を対象に、気軽に楽しめるイベントを実施することで、育成センターの貸館および相談・研修業務をPRした。 *事業内容はB-1参照

A 青少年活動を支援する事業 え 相談・助言

事業名	実施日	件数	備考
1 青少年育成に関する相談・情報の収集と提供 ●相談・コーディネート	通年	77件	・窓口、電話、Eメール、受講者カード ・HP、広報紙等での発信

●情報のデータベース化、案内表示等の整理	随時	—	・助成金情報および講座・研修情報、ボランティア活動情報、青少年に関する施策・トピックをHPにて掲載更新（月2～3回） ・分野ごとにファイリング（閲覧用、随時）
●相談・助言の対応の向上 （スタッフスキルアップ研修等）	①毎月 ②5/22、 12/18 ③随時	—	【研修内容】 ①月例会議でのケースカンファレンス（毎月） ②スキルアップ研修（年2回） テーマ：コミュニケーション力を強化する、相談対応の基本 ほか ③外部研修への職員の参加
●HPによる情報提供	随時	—	・青少年情報ページの更新（月2回以上） （助成金、講座・研修情報、統計・施策等のトピックス情報の掲載） ・活動レポートの掲載 ・青少年向けのボランティア活動情報の提供 ・ボランティア情報の掲載依頼フォーム ・HPからの研修申込みフォーム
2 青少年育成活動情報交換会 「よこはまユース・ゼミ」 ①学習支援に来る子どものステップアップ ②先輩教えて！子ども・若者関係施設スタッフの勉強法 ③スタッフ間の情報共有 ④子ども・若者から見える“わたしのギャップ”	①12/17 ②2/24 ③3/9 ④3/15	①10人 ②7人 ③3人 ④8人 計 28人	・青少年活動者間のゆるやかなネットワークづくりを目的に、メンバーを固定せずに青少年に関わる人たちが気軽に集まり・学ぶ機会を設けた。 ・今年度は、課題ごとのテーマの他、年代や経験別の課題や関心などのつながりにも応えるため、青少年支援の新任スタッフのネットワークづくりを支援した。

B 青少年を支える人材を育成する事業 い 講座・セミナー・育成

日常の関わりの中で包括的に青少年を支え、(潜在的な)課題に気づいた場合には必要な機関へつなぐことができる、『地域と機関とをつなぐ中間的な人材』の広がりを目指し、企画・実施しています。

また、多様な視点からじっくり学ぶ連続講座、入門・実践・経験者など対象別の講座、取組みを充実するためのステップアップ講座、現在の青少年を取り巻く課題を考えるシンポジウムなど、学びたい項目・環境に合わせた研修体系となっています。

事業名 <>は事業の柱名	実施日	参加人数	備考
<スキルアップ講座> 子ども・若者を支えるスタッフのための「記録から始めるチーム力UP」講座 ・講師：杉野聖子 （江戸川大学総合福祉専門学校 専任講師） ・参加費：1,000円	5/15	22人	・青少年支援に関わる初任者を対象に、支援につながる「記録」の書き方やポイントを学んだ。演習では、グループワーク記録を各自が記入し、自分のクセや課題を知り、参加者同士で共有することで、実践に活かすポイントを体験的に学ぶことができた。
<青少年人材養成研修> 「青少年の居場所づくり講座・ユースコーディネーター養成研修 合同フォローアップ講座」 ・進行：青少年育成センター職員 ・ゲスト：山口麻津子（どろっぶ） ・参加費：無料	6/2	5人	・昨年度の受講生を対象に、研修で学んだ「青少年との関わり」「青少年と関係機関とをつなぐ」をテーマに、ワーク形式で考えた。 ・実践事例として、前年度の参加者である、地域子育て支援拠点「どろっぶ」の活動を取り上げ、活動の課題やヒントを全員で考えた。 * 合同で実施

<p><スキルアップ講座> 「広報・記録のためのデジカメ写真入門講座」 ・講師：大向哲夫氏（写真家） ・参加費：1,500円</p>	6/23	45人	<p>・第三者にいかに関活動の様子を効果的に伝えるか、Webや記録・報告書等に掲載する写真撮影の技術やポイントを、フィールドワークを交え実践的に学んだ。</p>
<p><スキルアップ講座> 「発達障がいを理解する」 ・講師：中本テリー（臨床心理博士） ・参加費：500円</p>	6/30	71人	<p>・「発達障がいの特徴と、より良い支援について」をテーマに、脳のしくみや当事者の困難さなどを理解し、青少年やその家族への支援のあり方を考えた。 ※当初定員を30人に設定したが、想定を超える(150人)の申込みがあり、講師と相談し定員を会場の定員いっぱいまでの70人に変更した。</p>
<p><青少年人材養成研修> 青少年の居場所づくり講座 「中高生との向き合い方」 ・参加費：2,500円（全回） ①導入講義 進行：育成センター職員 ②特別講義 講師：県警少年保護センター加賀町警察署 ③実践見学 講師：寺尾地区センター職員 ④実践見学 講師：ばあばのいえ スタッフ ⑤実践見学 講師：青少年交流センター職員 ⑥ふりかえり 講師：萩原建次郎氏（駒澤大学）</p>	<p>①7/24 ②8/5 ③8/27 ④9/3 ⑤9/10 ⑥9/17</p>	<p>①13人 ②24人 ③13人 ④10人 ⑤20人 ⑥14人 計94人</p>	<p>・地域の中で青少年と関わる人を対象に、青少年と関わるうえでの大切なことや身近な大人だからこそできる役割などについて、実践例をヒントに考えていく連続講座。 今年度は、非行傾向にある青少年たちに向き合う実践例を通して、地域の役割を考えた。</p>
<p><利用促進事業>*A-あで実施 夏休み事業「きずな★夏祭り」 ・参加費：無料 ・横浜市町内会連合会（横浜市民局）共催 ・青少年ボランティア 36人 ・キッズ（放課後キッズクラブ）ボランティア2校</p>	8/18・19	1,173人 (2日間)	<p>・青少年育成団体および保護者等への利用PRと、子どもたちが町内会の仕事を体験することで、自分の住むまちに愛着を持てるようになることを目的に実施した。また、高校生を中心とした青少年にボランティア活動の機会を提供した。</p>
<p><スキルアップ講座> 「赤十字救急員資格 継続講習会」 ・講師：日本赤十字社救急法指導員 ・参加費1,000円 *ボーイスカウト横浜みなと地区協議会と共催</p>	8/23	39人	<p>・資格取得者を対象に、継続（3年延長）更新ができるための講習会を実施することで、青少年に関わる人材が安全な活動を展開できるよう継続的に支援した。</p>
<p>「赤十字救急法救急員養成講習会」 （4日コース） ・講師：日本赤十字社救急法指導員 ・参加費：1,500円 *ボーイスカウト横浜みなと地区協議会と共催</p>	9/20 ~23	100人 (延べ)	<p>・活動中の事故や災害によるけがなど、もしもの時のために役立つ知識・技術について学ぶ。 講習修了者には日本赤十字社より修了証を交付した。</p>
<p><スキルアップ講座> 「必ず役立つコーチング入門講座」(全2回) ・講師：川本正秀氏（共育コーチング研究会） ・参加費：3,000円（2回）</p>	11/18, 25	100人 (延べ)	<p>・コーチングの手法を学ぶことで、子ども・若者の潜在的な力を引き出し、青少年支援活動を充実していく講座。基礎編と実践編の2回に分けてじっくりと学ぶことで、すぐに実践で活用できることを目指した。</p>
<p>「コーチング入門講座 ステップアップ研修」 ・講師：川本正秀氏（共育コーチング研究会） ・参加費1,500円</p>	12/16	16人	<p>・コーチング入門講座および昨年度受講者を対象に、各自の実践の中で出てきた課題を洗い出し、さらに日常的に使えるスキルとしていくためのステップアップ講座を実施した。</p>

<p><ユースコーディネーター養成研修> 「ユースコーディネーター養成研修」 ・参加費：1,600円(4回) ・講師 ①竹内敬一郎氏(横浜市中央児童相談所) ②伊勢俊枝氏(横浜市母子家庭等就業・自立支援センター) ③星野慎二氏(NPO法人 SHIP) ④中本テリー氏(臨床心理学博士)</p>	<p>全4回 ①10/15 ②10/29 ③11/13 ④11/27</p>	<p>①54人 ②52人 ③44人 ④89人 計209人</p>	<p>・青少年を取り巻く現代の課題について知り、青少年を地域や相談機関などの社会資源につなぐことができる人材を養成する。 ・今年度は「知ることから始めよう!困難を抱える子どもの思い」をテーマに実施した。 ①「子どもへの虐待から知る ～子ども・家庭の困難と関係機関のつながり～」 ②「ひとり親家庭の現状と課題」 ③「性的少数者(LGBT)の支援現場から」 ④「発達障がいの子どもの生きづらさを知る」</p>
<p><スキルアップ講座> 「魅力ある事業企画の考え方を身に付ける」 ・参加費：500円 ・講師：佐々木英和(宇都宮大学)</p>	<p>1/27</p>	<p>34人</p>	<p>・魅力ある講座や事業を企画するための「対話力」や「構想力」をトレーニングやワークで実践的に学び、身につける講座を実施した。</p>
<p><青少年を支える層を拡大するための講座・研修> 「よこはまユース・シンポジウム 一思春期の子どもとどう向き合うか」 ・参加費：無料 ・コーディネーター： 徳丸のり子氏(よこはまチャイルドライン代表理事) パネリスト： 三ツ橋健氏(横浜市社会福祉協議会) 宮代哲男氏(杉並区児童青少年センター)</p>	<p>1/30</p>	<p>53人</p>	<p>・青少年を取り巻く今日的な課題をテーマに、市民に広く啓発することで、「地域の中で青少年を支える層」を拡大していくことを目指していくことを目的に実施した。 当日は、基調講演と活動報告、参加者との意見交換を交えたパネルディスカッションで構成し、活発な意見交換ができた。</p>
<p><スキルアップ講座> ユースワーカー リーダー研修 「スーパーバイズの視点から職員を育てる・チームをつくる」 ・講師：杉野聖子(江戸川大学総合福祉専門学校) ・参加費：1,000円</p>	<p>2/16</p>	<p>20人</p>	<p>・青少年支援に関わる中堅およびマネージャークラスのスタッフが、業務や活動において必要とされる視点や人材育成について、グループワークや演習を交えて学んだ。</p>
<p><青少年を支える層を拡大するための講座・研修> 「馬車道カレッジ ～社会人のためのマナー教室～」</p>	<p>3/18・25 (全2回)</p>	<p>16人</p>	<p>・20～30歳代の社会人に、楽しみながら社会参加に関心を持つ機会を提供した。前年度のアンケートを踏まえ、マナーの考え方や手法について学び、ビジネスだけでなく若者が日常の対人関係に自信が持てるような内容にした。</p>

体系	項目	自己評価
A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与	諸室および物品の貸出 青少年育成団体を中心に、多くの市民・団体が活動を充実できるよう研修室のほか、研修機材、印刷機・着ぐるみの貸出を行いました。和室用の椅子を購入するなど、年代や用途を問わず誰でも利用しやすい研修室を目指しました。経年劣化により修繕が必要な箇所が目立ってきたため、今後はこまめな小破修繕が必要とされます。 26年度：利用件数 5,020件／利用稼働率 74.1% 27年度：利用件数 5,143件／利用稼働率 75.7%
		利用促進事業 利用が想定される団体を分析しDM送付を行いました。今年度は学生を対象に、夏休みなど長期休暇前に、スタジオ案内のチラシを図書館等に送付しました。 また、青少年育成団体や保護者にPRするため、横浜市市民局・町内会連合会と協働で実施した「きずな夏祭り」では、2日間で1,000人を超える来場がありました。他にも、広報紙やHPによる空室状況の発信、アンケートや利用時のヒアリング・報告書へ意見欄を踏まえて貸出物品を購入するなど、施設運営に反映しています。
	え 相談・助言	青少年育成に関する相談、ホームページ等を使った情報提供 毎月のケース検討や相談対応スキルの向上などのスタッフ研修を定期的を実施し、青少年にかかる一次相談窓口として、いつでも対応できる体制を整えました。また、ボランティア情報コーナーにおける図書の実践や、ボランティア募集情報・青少年支援スタッフ向けの研修情報を収集・ファイリングし、自由に閲覧できるようにした他、問い合わせに迅速に対応できるように整備しました。
		青少年育成に関する団体とのネットワーク形成 昨年度に引き続き、課題やテーマごとに気軽に集まり、意見交換を通じ横のつながりを作ることができる「よこはまユースゼミ」を実施しました。今年度は、講座修了者のアンケートやヒアリングをもとに、5年目までの初任者を対象に、その時期特有の課題や疑問を学び合う経験別のゼミを実施しました。
B 青少年を支える人材を育成する事業	い 講座・セミナー・育成	青少年人材養成研修 「居場所づくり」の実践から活動のヒントを得ることを目的とした連続講座です。今年度は、さまざまな実践を学ぶことをテーマに、青少年の利用が多い夏休み中の実践見学や、警察官を講師に迎えて非行傾向にある青少年支援について話を聞きました。
		「ユースコーディネーター養成研修」 虐待や貧困等、青少年が抱える困難な課題を早期に発見し、地域の支援機関につなぐことができる人材を養成する研修を実施しました。今年度は「性的少数者（LGBT）」や「ひとり親家庭の支援」などの現代的課題をテーマに取り入れ、各回定員を大きく上回る参加があり、関心の高さがうかがわれました。
		スキルアップ講座 講座修了生へのヒアリングやアンケートを踏まえ、その時々が必要とされる青少年活動や組織運営に必要なスキルや考え方を学ぶ講座を7講座実施しました。今年度は、活動を継続・充実をさせるためのスキルに焦点を当て、「事業企画の考え方」を学ぶ講座を新たに実施したほか、リーダー・マネージャークラスのスタッフが組織運営や人材育成の視点について、演習を交えて学びました。両講座とも定員を大きく上回る申込みがあり、青少年活動に携わる人たちの課題が明らかになりました。
		青少年を支える層の拡大 昨年度の思春期世代の青少年が関係する事件に鑑み、シンポジウムでは「思春期の心の声を聴く～SOSに気づき・支えるために～」をテーマに、実践者3人による基調講演と活動報告、パネルディスカッションを行いました。 また、若手社会人を対象に次代の地域活動の担い手を養成する「馬車道カレッジ」では、昨年度のアンケートを踏まえ「自信が持てない」「人に聞きにくい」という「社会人のマナーを学ぶ」をテーマにしました。基礎的なマナーを学ぶことで対人関係に自信が付き、仕事以外の活動に関心を持つことができるようにしたほか、グループワークを取り入れ仲間づくりを促進しました。
交流センターとの連携事業	「青少年人材養成研修」では、交流センターの事例をもとに、実践見学および意見交換会を実施しました。研修全体のテーマとなった「非行傾向にある青少年への対応、居場所のあり方」について、交流センターの複数のスタッフが事例発表者となり、小グループでの分散会を実施するなど、実践例に基づいた真剣な意見交換がなされました。	

平成27年度 青少年育成センター利用者アンケート

概要

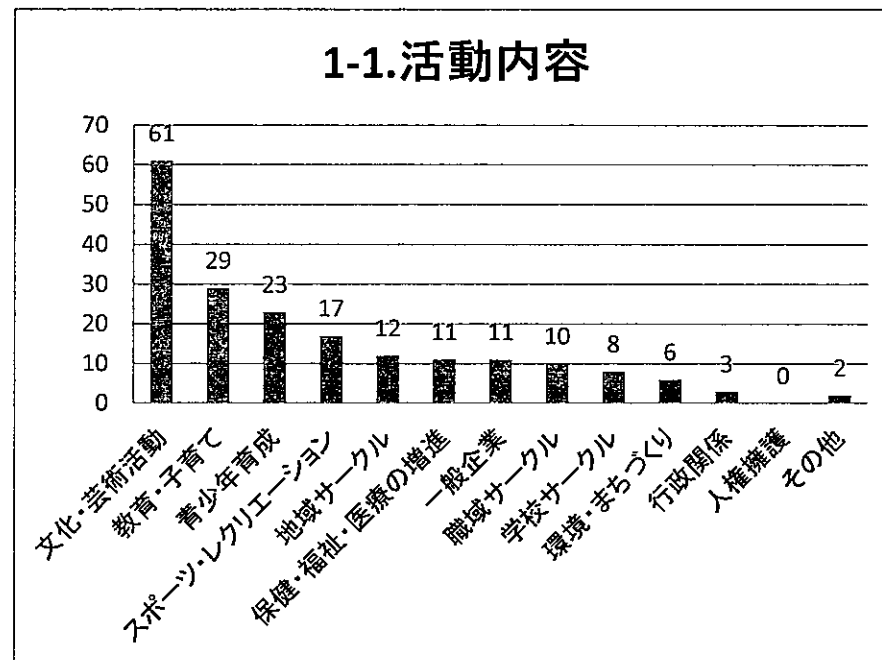
目的	施設や青少年活動情報スポットを運営するにあたり、運営面・認知面での課題を把握し改善することで、より多くの市民・団体に利用していただくことを目的に実施する。
実施期間	平成27年11月9日～平成27年12月13日
調査方法	会議室等を利用の際にアンケート用紙を配布し、記入後回収する。
回収数	135件/166団体(回収率:81.3%) ※分母は実施期間中の育成センター利用団体数

1.利用状況について

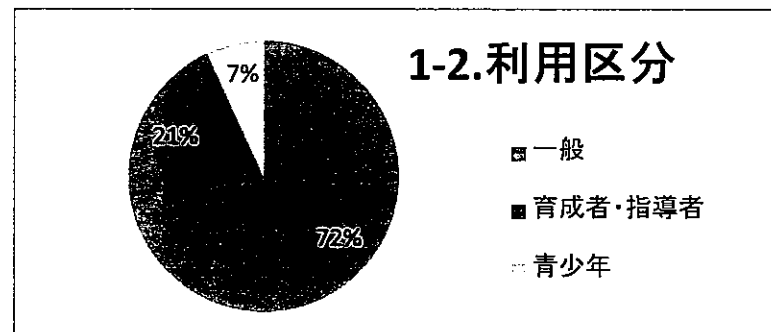
1-1 どのような団体ですか【複数回答可】	件数	割合
文化・芸術活動	61	31.6%
教育・子育て	29	15.0%
青少年育成	23	11.9%
スポーツ・レクリエーション	17	8.8%
地域サークル	12	6.2%
保健・福祉・医療の増進	11	5.7%
一般企業	11	5.7%
職域サークル	10	5.2%
学校サークル	8	4.1%
環境・まちづくり	6	3.1%
行政関係	3	1.6%
人権擁護	0	0.0%
その他	2	1.0%
合計	193	100.0%

【その他】

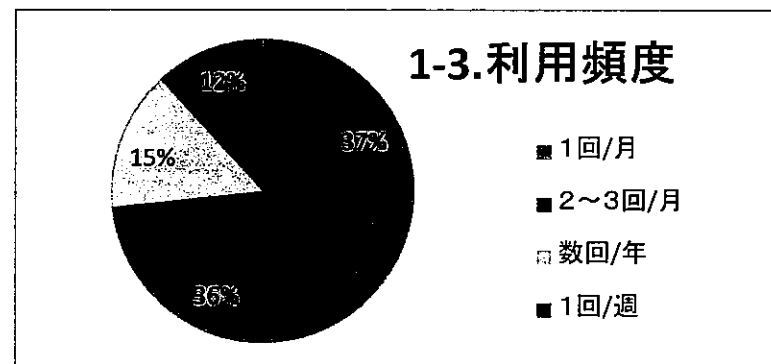
- ・カウンセリングの勉強会(1)
- ・国際交流(1)



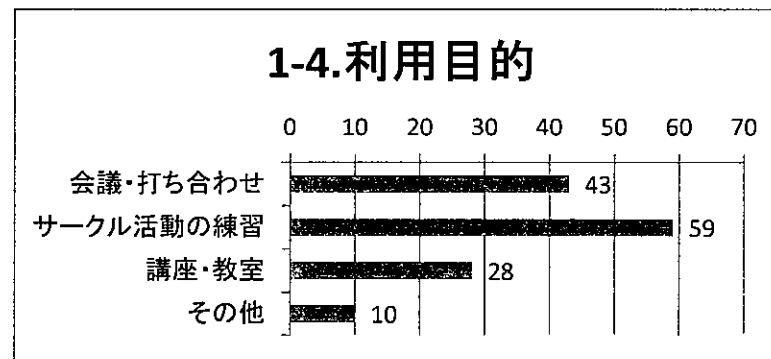
1-2		
利用区分	件数	割合
一般	95	70.4%
育成者・指導者	27	20.0%
青少年	9	6.7%
無回答	4	3.0%
合計	135	100.0%



1-3		
利用頻度【複数回答有】	件数	割合
1回/月	50	37.0%
2～3回/月	49	36.3%
数回/年	20	14.8%
1回/週	16	11.9%
2回以上/週	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	135	100.0%



1-4		
目的【複数回答可】	件数	割合
会議・打ち合わせ	43	30.7%
サークル活動の練習	59	42.1%
講座・教室	28	20.0%
その他	10	7.1%
無回答	1	0.7%
合計	140	100.0%



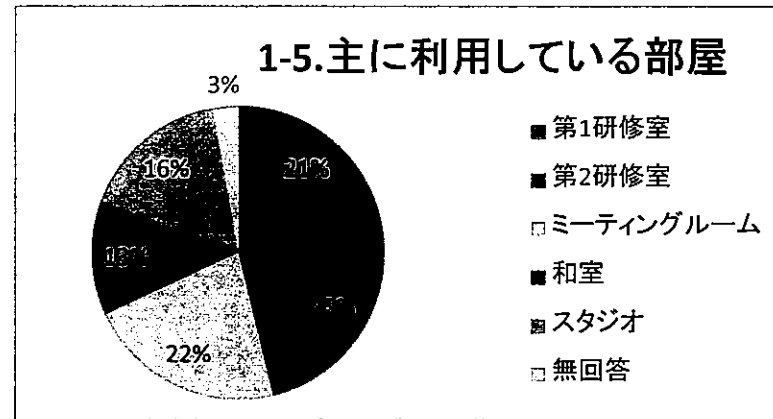
【会議・打ち合わせ】大会の打ち合わせ(1)

【サークル活動】バンド(11)、合唱(7)、演劇(3)、楽器練習(3)、俳句会(2)、勉強会(2)、外国語(1)、ダンス(1)

【講座・教室】日舞(1)、文芸(1)、ヨガ・リラクゼーション(1)、朗読(1)

【その他】楽器個人練習(1)、ドラム個人練習(2)、ピアノ個人練習(2)、内部研修(2)、自習(1)、子育てサロン(1)

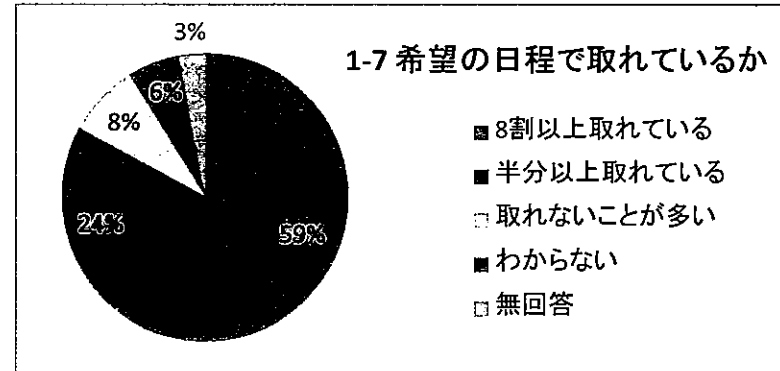
1-5		
主に利用している部屋【複数回答有】	件数	割合
第1研修室	39	21.4%
第2研修室	45	24.7%
ミーティングルーム	40	22.0%
和室	23	12.6%
スタジオ	30	16.5%
無回答	5	2.7%
合計	182	100.0%



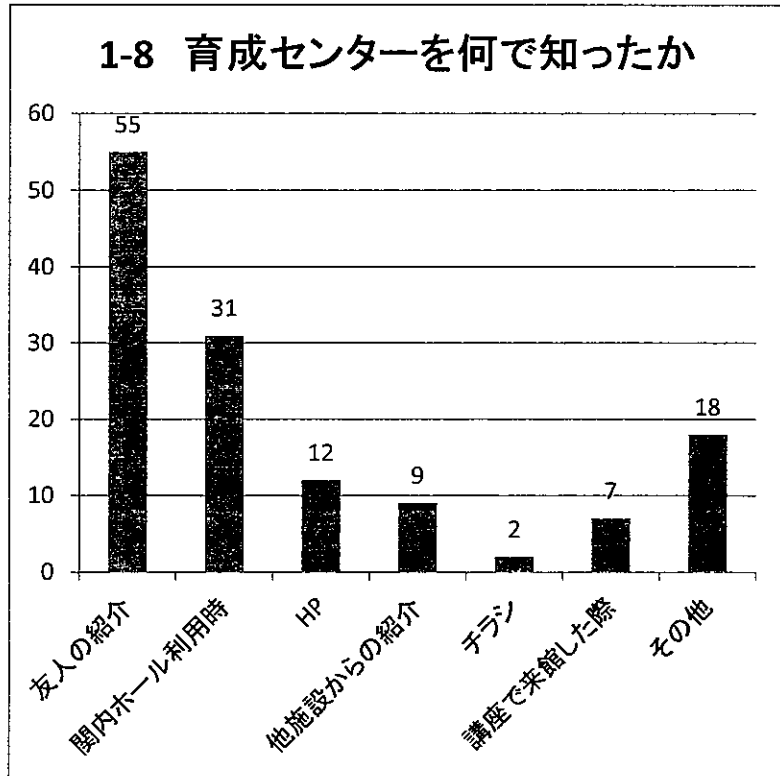
		1-6 主な利用日・時間帯 (割合/件数) 【複数回答可】																					
		研修室																					
		曜日																					
		a	*b*	*c*	*d*	*e*	*f*							*g*	*h*								
		月	火	水	木	金	土	平日全体		日・祝		不定期・わからない		有効回答数									
平日 時間帯	9:00~12:00	*a*	0.0%	0.0%	2.3%	4件	3.4%	6件	3.4%	6件	4.0%	7件	13.2%	23件	日・祝	9:00~12:45	3.4%	6件					
	12:15~15:15	*b*	0.0%	0件	3.4%	6件	1.1%	2件	4.0%	7件	2.3%	4件	4.6%	8件	15.5%	27件	日・祝	13:00~16:45	5.7%	10件			
	15:30~18:30	*c*	0.0%	0件	2.9%	5件	2.9%	5件	6.3%	11件	2.3%	4件	4.0%	7件	18.4%	32件							
	18:45~21:45	*d*	0.0%	0件	4.0%	7件	5.2%	9件	6.9%	12件	2.9%	5件	2.9%	5件	21.8%	38件							
	計	a	0.0%	0件	13.8%	24件	11.5%	20件	20.7%	36件	10.9%	19件	15.5%	27件	72.4%	126件	計	13.8%	24件	13.8%	24件	174件	

		1-6 主な利用日・時間帯 (割合/件数) 【複数回答可】																					
		スタジオ																					
		曜日																					
		e	*f*	*g*	*h*	*i*	*j*									*k*	*l*						
		月	火	水	木	金	土	平日全体		日・祝		不定期・わからない		有効回答数									
平日 時間帯	9:00~11:00	*e*	0.0%	0件	1.0%	1件	1.0%	1件	0.0%	0件	1.0%	1件	3.0%	3件	6.1%	6件	日・祝	9:00~11:00	2.0%	2件			
	11:05~13:05	*f*	0.0%	0件	1.0%	1件	3.0%	3件	0.0%	0件	2.0%	2件	4.0%	4件	10.1%	10件	日・祝	11:05~13:05	4.0%	4件			
	13:15~15:15	*g*	0.0%	0件	2.0%	2件	1.0%	1件	1.0%	1件	1.0%	1件	4.0%	4件	9.1%	9件	日・祝	13:10~15:10	5.1%	5件			
	15:25~17:25	*h*	1.0%	1件	2.0%	2件	1.0%	1件	1.0%	1件	2.0%	2件	2.0%	2件	9.1%	9件	日・祝	15:15~16:45	3.0%	3件			
	17:35~19:35	*i*	1.0%	1件	2.0%	2件	3.0%	3件	2.0%	2件	3.0%	3件	3.0%	3件	14.1%	14件							
	19:45~21:45	*j*	1.0%	1件	2.0%	2件	2.0%	2件	2.0%	2件	3.0%	3件	3.0%	3件	13.1%	13件							
計		3.0%	3件	10.1%	10件	11.1%	11件	6.1%	6件	12.1%	12件	19.2%	19件	61.6%	61件	計	14.1%	14件	24.2%	24件	99件		

1-7		
希望の日程で取れているか	件数	割合
8割以上取れている	79	58.5%
半分以上取れている	33	24.4%
取れないことが多い	11	8.1%
わからない	8	5.9%
無回答	4	3.0%
合計	135	100.0%



1-8		
育成センターを何で知ったか【複数回答可】	件数	割合
友人の紹介	55	38.7%
関内ホール利用時	31	21.8%
HP	12	8.5%
他施設からの紹介	9	6.3%
チラシ	2	1.4%
講座で来館した際	7	4.9%
その他	18	12.7%
無回答	8	5.6%
合計	142	100.0%



【HP】よこはまユースHP(1)、はまっカード関係のHP(1)、検索(1)
 【他施設からの紹介】ふりーふらっと野毛山(5)、Do館(1)
 横浜市教育委員会(1)、野毛山動物園(1)
 【その他】長い間使っていて担当者が変わっているため、わからない(10)

1-9		
利用している理由【複数回答可】	件数	割合
立地環境が良い	98	29.4%
料金が適当	95	28.5%
スタッフの対応が良い	48	14.4%
施設がきれい	32	9.6%
利用手続きが簡単	31	9.3%
他の施設がとれなかった	10	3.0%
研修やイベントの情報を得やすい	2	0.6%
その他	4	1.2%
無回答	13	3.9%
合計	333	100.0%

【その他】

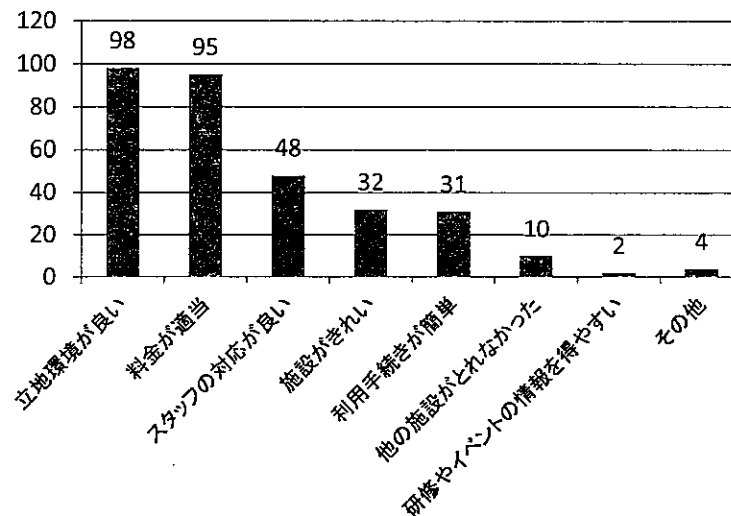
- ・スタジオが利用しやすい
 - ・ドラム、ピアノ、アンプが無料で利用できるから
 - ・備品が整っているから
 - ・4か月前から予約できるから
- ※青少年と青少年育成団体は、4か月前からの抽選予約が可能です。

1-10		
育成C主催の講座に参加した事がある	件数	割合
ある(講座名)	13	9.6%
ない	102	75.6%
無回答	20	14.8%
合計	135	100.0%

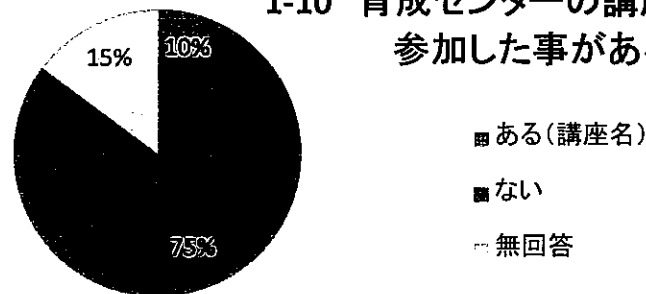
【参加した講座名】

- ・<協賛>カウンセリング講習会(2)
- ・居場所講座(1)
- ・コーチング講座(1)

1-9 利用している理由

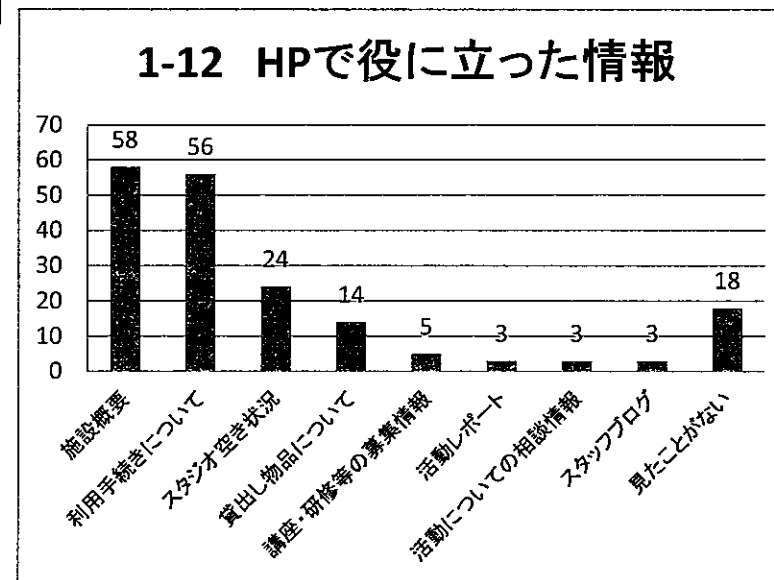


1-10 育成センターの講座に参加した事があるか



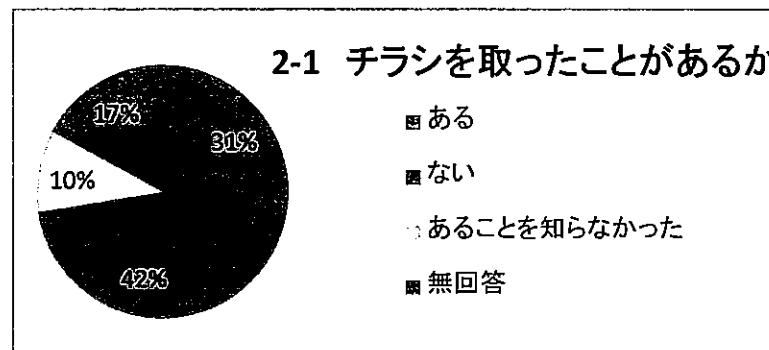
1-11	
どのような講座・研修があれば参加したいか【自由記述】	
若者に関する講座	国際理解に関する講座
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援(3) ・地域、学校、家庭の連携の取り方や現状について ・学生の今後の社会での立場、求められるもの(就職) ・引きこもり、虐待、うつなど、社会的な問題に関して ・子どもの貧困・青少年支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・中華料理 vs 日本料理 ・世界と日本のギャップ
ボランティアや福祉、対人支援に関する講座	趣味に関する講座
<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング ・人権研修 ・音楽でのボランティア活動 ・東日本大震災の今 	<ul style="list-style-type: none"> ・茶道とか ・外国語に関する研修・講座 ・バンドマン講習会 ・ジャズのアドリブ講座 ・ヨガ、ピラティス ・演劇、舞台技術等 ・日本の歴史・漢詩
横浜についての講座	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・横浜の歴史と自転車散歩 ・馬車道のガス灯について ・馬車道で乗馬体験 ・崎陽軒の秘密 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークの利便性とリスク

1-12		
HPで役立つ情報【複数回答可】	件数	割合
施設概要	58	27.5%
利用手続きについて	56	26.5%
スタジオ空き状況	24	11.4%
貸出し物品について	14	6.6%
講座・研修等の募集情報	5	2.4%
活動レポート	3	1.4%
活動についての相談情報	3	1.4%
スタッフブログ	3	1.4%
見たことがない	18	8.5%
無回答	27	12.8%
合計	211	100.0%

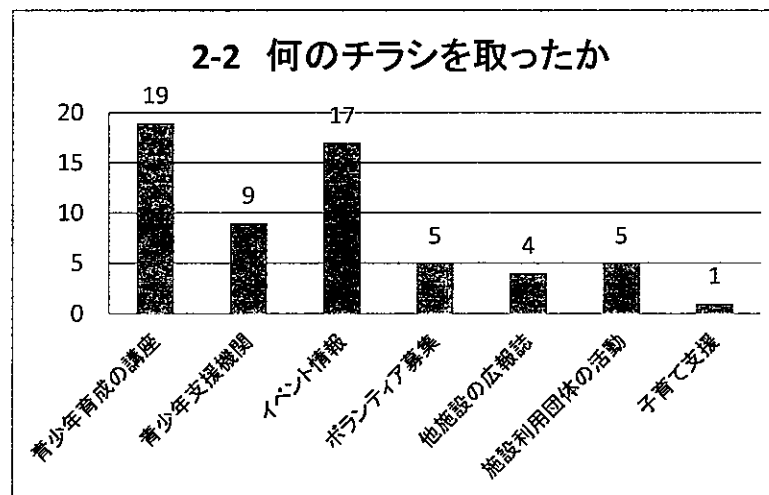


2. 青少年活動情報スポットについて

2-1		
チラシを取ったことがあるか	件数	割合
ある	42	31.1%
ない	56	41.5%
あることを知らなかった	14	10.4%
無回答	23	17.0%
合計	135	100.0%

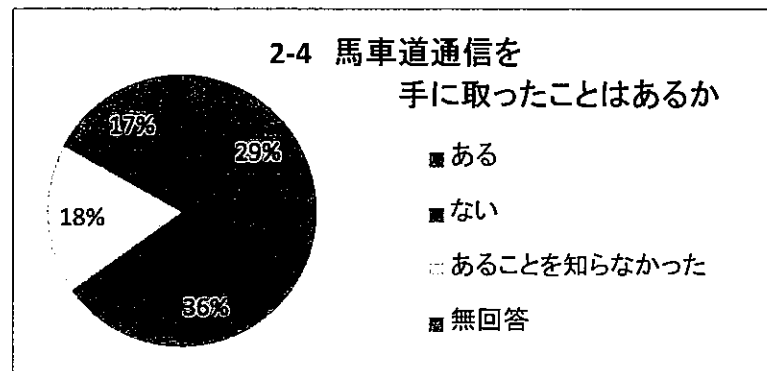


2-2		
何のチラシを取ったか【複数回答可】	件数	割合
青少年育成の講座	19	12.3%
青少年支援機関	9	5.8%
イベント情報	17	11.0%
ボランティア募集	5	3.2%
他施設の広報誌	4	2.6%
施設利用団体の活動	5	3.2%
子育て支援	1	0.6%
無回答	94	61.0%
合計	154	100.0%

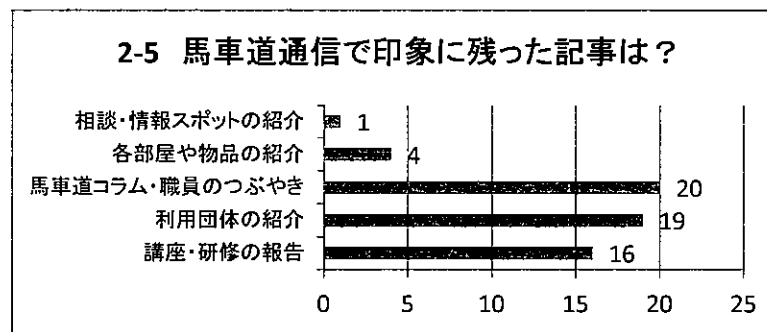


2-3	
どんなチラシがあれば手にとりたいか	
・演劇、音楽などのイベント(3)	
・コミュニケーション	
・ボランティア	
・今のままで充分	

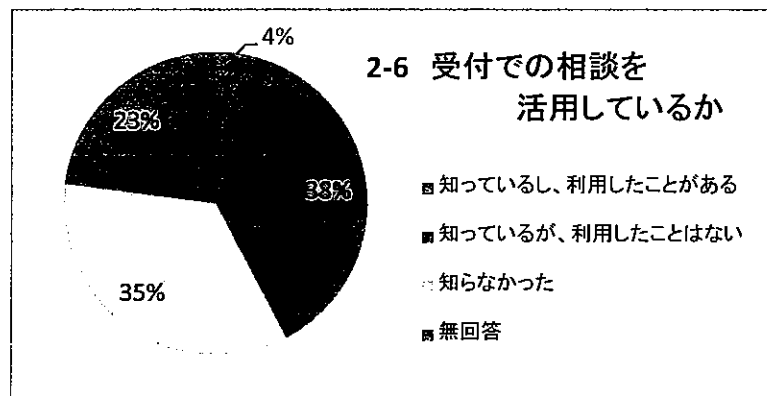
2-4		
馬車道通信を手にとったことはあるか	件数	割合
ある	39	28.9%
ない	49	36.3%
あることを知らなかった	24	17.8%
無回答	23	17.0%
合計	135	100.0%



2-5		
馬車道通信で印象に残っている記事は？【複数回答可】	件数	割合
講座・研修の報告	16	10.3%
利用団体の紹介	19	12.3%
馬車道コラム・職員のつぶやき	20	12.9%
各部屋や物品の紹介	4	2.6%
相談・情報スポットの紹介	1	0.6%
無回答	95	61.3%
合計	155	100.0%

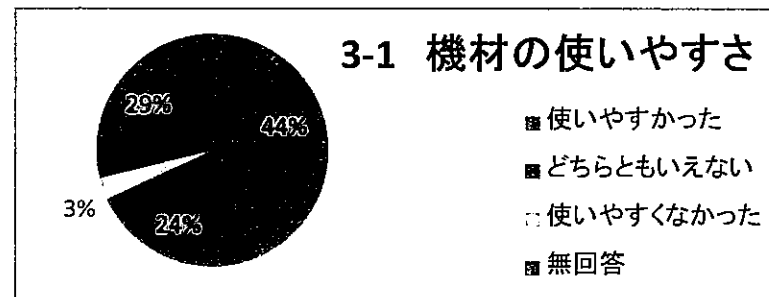


2-6		
受付で相談を行っていることを知っているか	件数	割合
知っているし、利用したことがある	6	4.4%
知っているが、利用したことはない	51	37.8%
知らなかった	47	34.8%
無回答	31	23.0%
合計	135	100.0%



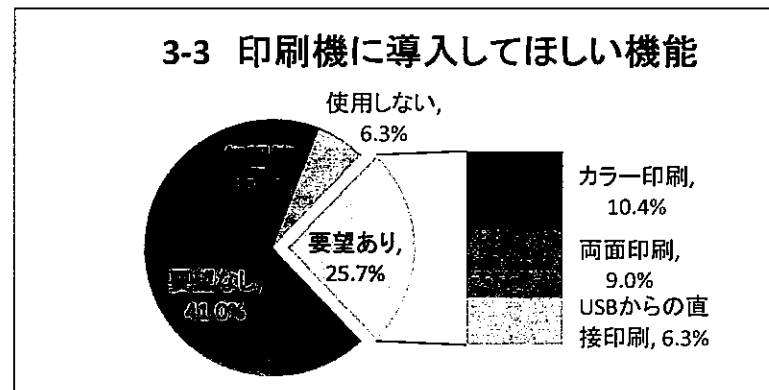
3.機材の貸出、付帯物品について

3-1		
機材は使いやすかったか	件数	割合
使いやすかった	60	44.4%
どちらともいえない	32	23.7%
使いやすくなかった	4	3.0%
無回答	39	28.9%
合計	135	100.0%



3-2	
どの機材が、どのように使いづらかったか【自由記述】	
・和室の小さな立てかけ式のホワイトボードが使いにくい(2)	・ドラムの椅子が回転式で使いづらい
・スタジオの譜面台の一部が壊れていて使いにくい(2)	

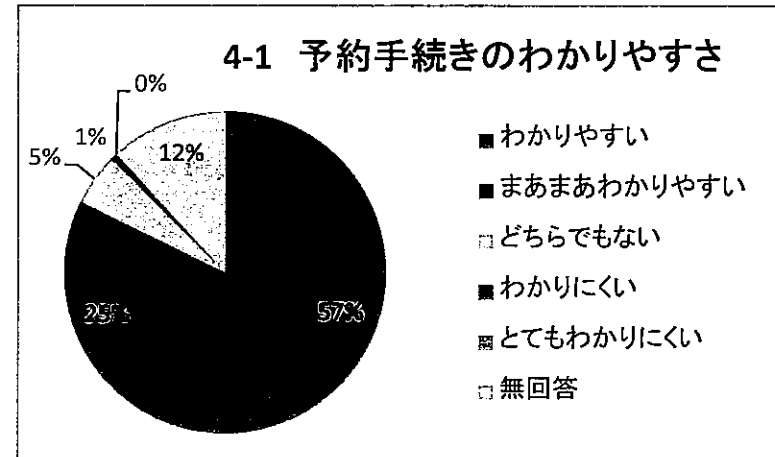
3-3		
印刷機導入してほしい機能【複数回答可】	件数	割合
要望あり	37	25.7%
要望なし	59	41.0%
無回答	39	27.1%
使用しない	9	6.3%
合計	144	100.0%
要望あり内訳		
カラー印刷	15	10.4%
両面印刷	13	9.0%
USBからの直接印刷	9	6.3%
解像度を上げてほしい	0	0.0%



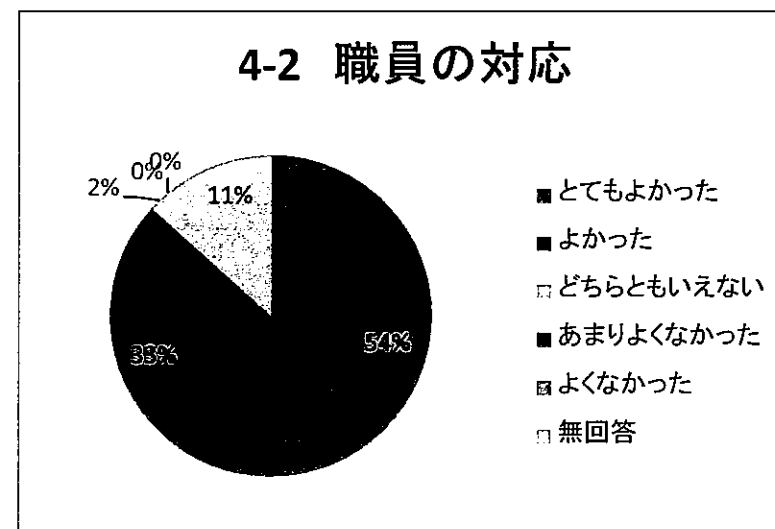
3-4			
追加してほしい備品・物品【自由記述】			
・PC(2)	・長いキーボード	・小さい可動式ホワイトボード(和室)	・wi-fi
・ドラム用のイス	・大型印刷機(模造紙)	・和室のホワイトボードを置ける台	・譜面台
・コートハンガー			

4.受付について

4-1		
予約手続きはわかりやすいか	件数	割合
わかりやすい	77	57.0%
まあまあわかりやすい	34	25.2%
どちらでもない	7	5.2%
わかりにくい	1	0.7%
とてもわかりにくい	0	0.0%
無回答	16	11.9%
合計	135	100.0%



4-2		
職員の対応	件数	割合
とてもよかった	72	53.3%
よかった	45	33.3%
どちらともいえない	3	2.2%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%
無回答	15	11.1%
合計	135	100.0%



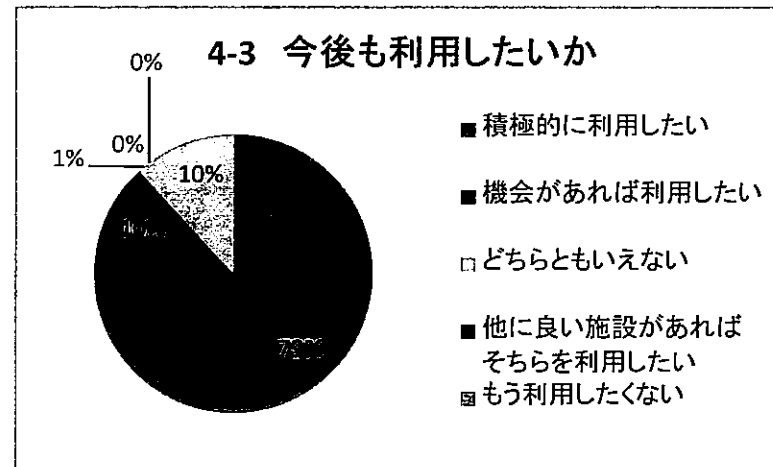
4-2

職員の対応についての評価に関して、どのような点でそう思ったか【自由記述】

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・親切、丁寧、優しい対応(21) ・笑顔での対応(6) ・説明がわかりやすい(3) ・明るい雰囲気(3) ・利用日の前日に電話がはいるのが、とても丁寧 ・次回の予約等で空き状況の相談にのっていただいた ・話し方がとても好感がもてた。これからもよろしくお願いします ・フレンドリー ・いつも感じよく対応して頂いています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズな対応(2) ・雰囲気が良い(2) ・対応が早い(2) ・臨機応変に対応してくれた(2) ・入退館の挨拶がとても良い ・多数の他の施設の利用をして、そう思った。他の施設も悪いわけではないので、こちらの施設の採用基準が元々高いのではないかと考えています。 ・担当の方による※「どちらでもない」を選んだ利用者 |
|---|---|

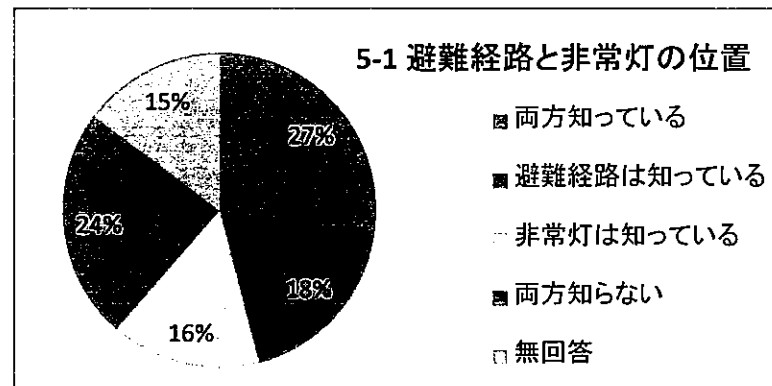
4-3

今後も利用したいか	件数	割合
積極的に利用したい	106	78.5%
機会があれば利用したい	13	9.6%
どちらともいえない	2	1.5%
他に良い施設があればそちらを利用したい	0	0.0%
もう利用したくない	0	0.0%
無回答	14	10.4%
合計	135	100.0%



5.その他

5-1		
避難経路と非常灯の位置	件数	割合
両方知っている	37	27.4%
避難経路は知っている	25	18.5%
非常灯は知っている	21	15.6%
両方知らない	32	23.7%
無回答	20	14.8%
合計	135	100.0%



5-2
防災・防犯で気になること【自由記述】
<ul style="list-style-type: none"> ・スタジオ内のアンプなどは、地震の際倒れたりしないのか。 ・3.11をこちらで経験しましたが、地上に出る階段がとて長く感じられました ・地上への避難経路は一つだけですか？ ・地下に知らない人が入ってきても気付きにくい ・エレベーターが少し不安 ・利用が地下なのでうまく地上にでれるのか不安

5-3	
お気づきの点があれば【自由記述】	
<ul style="list-style-type: none"> ・webで予約が出来ると嬉しいです。(2) ・スタジオ以外の部屋の空き状況がうまくみれない。 ・電子オルガン用のイスを寄贈することが出来ればしたい。 ・和室を利用する際、座イスが用意されているといいなと思う ・利用者の講座等のせていただくとありがたいです ・利用登録を2年ごとの申請にしてほしい。1年では短い。 ・料金が適正で継続して利用できる ・手続き等の気付かない所等は職員の方々が親切に教えてくれるので特段問題なく大変助かっています ・利用申請書の提出方法を再検討してほしい。1日1枚はコスト面から見てもあまり能率的ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーカー等も借りられてとても助かりました。 ・前日の利用確認が丁寧でとてもいい。ずっと続けてほしい。 ・メトロノームの貸出しが欲しいと利用報告書に記入したら、すぐに対応してくれた。 ・リアルタイムでスタジオの空き状況を更新してほしい。 ・育成センターと交流センターの休館日をずらしてほしい。 ・時間の区分が使いづらい

1-11	
どのような講座・研修があれば参加したいか【自由記述】	
茶道とか	
人権研修	
青少年育成に関する内容	
新しいがん治療法とか(例)フュージョン細胞治療。福島放射性物質がどうなっていくのか。25年後、私たちの健康はどうなっているのか、チェルノブイリを参考にしたシミュレーションなどのセミナー	
バンドマン講習会	
外国語に関する研修・講座	
ママを応援する講座	
育児、教育	
子どもの貧困・青少年支援	
地域、学校、家庭の連携の取り方や現状について	
理系学生の今後の社会での立場、求められるもの(就職)	
音楽でのボランティア活動	
ヨガ、ピラティス	
演劇、舞台技術等	
カウンセリング	
引きこもり、虐待、うつなど、社会的な問題に関して	
子育て	
日本の歴史・漢詩に関して	
ジャズのアドリブ講座 など	
音楽関係	
ネットワークの利便性とリスク	
世界と日本のギャップ	
日本の伸ばすべき点と反省すべき点	
燃料電池自動車の展望	
東日本大震災の今	
横浜の歴史と自転車散歩	
馬車道のガス灯について	
馬車道で乗馬体験	
崎陽軒の秘密	
中華料理 vs 日本料理	

2-3

どんなチラシがあれば手に取りたいか

ママも自分の思う人生を歩こう！みたいな、「ママだから…」と思っている人が自分らしく生き生きできるような講座

ボランティア

コミュニケーション等

今のままで

今までの騙されてきた健康でなく、本当の健康についてのセミナー。ケムトレイル日手のセミナー。
放射線物質から身の守り方セミナー。

外国語関係

上記同様

演劇、音楽などのイベント

音楽関係

ジャズライブ

3-2

どの機材が、どのように使いづらかったか【自由記述】

ホワイトボードのみ使いにくい。和室のホワイトボードは置く場所に困る。立てかけると滑ってきたりする。
可動式の小さいホワイトボードか、今あるホワイトボードを立てかける台が欲しい。

整備がきちんとされている

ドラムの椅子が旧式の回転するものなので、新しい施設の固定式かつ座面がひらたなものだと好い

プレイヤーから見た右手の色の違うシンバルの音が悪い。

ピアノの音程がくるってる

ホワイトボード(和室)置けないので使いづらいです

スタジオの譜面台の一部が壊れている

複雑でない

正常な自立式譜面台はとても使いやすい。折りたたみの部面台は、フラフラするのでやや使いにくい。折りたたまない
運用は、そのまま使えるのでありがたい。台数が少ないため、正常ではない自立式譜面台も座って利用している。

3-4

追加してほしい備品・物品【自由記述】

可動式の小さめのホワイトボード(現在の可動式の半分くらいの大きさのもの)

ドラム用のイス

PC(2)

安く利用させていただきたい

クラッシュシンバル 16インチ1枚

長いキーボード

譜面台(こわれていて高さの調整ができない)台数も少ない

和室のホワイトボードを置ける台

wi-fi

大型印刷(模造用紙大)

冬はコートハンガーが欲しい

4-2	
職員への対応についての評価に関して、どのような点でそう思ったか(自由記述)	評価
ていねいだから	a
利用方法の説明等良かった	a
細かな説明を受けている	a
臨機応変に対応していただけるため	a
親切な対応	a
受付の時	a
多数の他の施設の利用をして、そう思った。がしかし、他の施設の対応も全員が悪いわけではないので、こちらの施設の採用基準が元々高いのではないかと考えています。	a
入退館のアイサツがとても良い	a
ていねいです。	a
笑顔	a
親切です。	a
いつも笑顔 ていねいな説明	a
あかるく接してくれるため	a
ていねい、要領を得ている、親切	a
フレンドリー	a
説明が分かりやすく丁寧。雰囲気が良い	a
いつも笑顔で優しい。丁寧	a
話方が丁寧。前日に電話がはいる。	a
利用は初めてだったのですが、受付の方が優しく対応してくれたおかげで、迷わずすんだ。	a
いつもにこやかに接していただいております。ありがとうございます	a
明るく対応してもらえる	a
スピーディーな対応だった	a
話し方がとても好感がもてました。これからもどうぞよろしく願っています。	a
いつも親切でうれしいです。	a
笑顔が全て	a
いつもていねいに対応していただいております。	a
対応がていねい	a
急な備品追加にも快く対応してくれる	a
明るく、親切で、言葉が丁寧	a
笑顔が素晴らしいです	b
事前予約の機関前希望	b
スムーズに対応していただけて良かったです	b
対応が早いこと。	b
丁寧な対応でした	b
雰囲気がいい	b
親切です	b
次回の予約等で空き状況の相談にのっていただいた	b
やさしく、丁寧に対応していただいております	b
特に待たされることなく、申込手続きができた。	b
いつも感じよく対応して頂いています。	b
担当の方による	b
いつもていねいに対応していただいております。	b

5-2	
防災・防犯で気になること【自由記述】	
温度	
スタジオ内のアンプなどは、地震の際倒れたりしないのか	
3.11をこちらで経験しましたが、地上に出る階段がとても長く感じられました。	
地上への避難経路は一つだけですか？	
地下に知らない人が入ってきてても気付にくい	
エレベーターが少し不安	
利用が地下なのでうまく地上にでれるのか不安	
5-3	
お気づきの点があれば【自由記述】	評価
時間の区分が使いづらい	-
スタジオ以外の部屋の空き状況がうまくみれない。	a
ホールの入口の開放順によって申請手続きが一步後れ部屋を予約できなかったことがあった。残念でした！	a
いつもありがとうございます	a
電子オルガン用のイスを寄贈することが出来ればしたい。電子オルガンの場所に常設	a
和室を利用する際、膝が痛い人がいる為、座イスが用意されているといいなと思う	a
満足しております	a
手続き等の気付かない所等は職員の方々が親切に教えてくれるので特段問題なく大変たすかっています	a
満足しています	a
利用者の講座等のせていただくとありがたいです	a
利用登録を2年ごとの申請にしてほしい(1年では短すぎる気が…)	a
特になし、毎回利用させていただきありがとうございます。	a
利用申請書の提出方法を再検討していただきたいと思います。同じ書式の紙を何枚も使って1日1回行うのは、時間を要するため、非常に非効率的で、コストを考えても改善の余地は大いにあると思います。	a
料金が適正で継続して利用できる	a
スピーカー等も借りられてとても助かりました。	a
特にありません。	a
ネット上で予約したい	a
今のところなし	a
前日の利用確認が丁寧でとてもいい。これからもずっと続けてほしい。	a
メトロノームの貸出しが欲しいと利用報告書に記述したところ、すぐに対応してくれた。	
リアルタイムでスタジオの空き状況を更新してほしい。	
育成センターと交流センターの休館日をずらしてほしい。	b
webで予約が出来ると嬉しいです。	
特になし	b

《目標設定時公表項目》 横浜市青少年育成センター

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値
利用者サービス	地域の青少年活動を支援するため、青少年育成に関する相談や情報提供などに対応します。	相談・情報提供業務 年間 100 件以上
業務運営	青少年に向き合う地域人材を養成します。	青少年育成に関する講座・研修等への参加者が延べ 600 人以上。
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①専門研修への延べ参加回数が 8 回以上。2 回以上の内部研修の実施 ②避難誘導訓練年 2 回、AED 研修年 1 回の実施
財務	利用料収入および事業収入を増収を図り、自主財源を高めます。	①利用料収入 257 万円 (前年度予算比 20%増) ②事業収入 77 万円 (前年度予算比 2%増)

《実績評価時公表項目》

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値	実績値	目標との差異	今後の取組(改善計画)
利用者サービス	地域の青少年活動を支援するため、青少年育成に関する相談や情報提供などに対応します。	相談・情報提供業務 年間 100 件以上	77 件	△23 件	青少年に関する一次相談窓口であることを、HPやチラシ・研修会開催時のアナウンスなどのPRに努める。具体的には、相談対応事例などをまとめ、発信していく。
業務運営	青少年に向き合う地域人材を養成します。	青少年育成に関する講座・研修等への参加者が延べ 600 人以上。	854 人	+254 人	引き続きニーズ把握に努め、参加者が求める研修、必要な研修を的確につかみ企画・実施する。
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①専門研修への延べ参加回数が 8 回以上。2 回以上の内部研修の実施 ②避難誘導訓練年 2 回、AED 研修年 1 回の実施	①専門研修 18 回。内部研修 2 回。 ②避難誘導訓練年 2 回、AED 研修 1 回	①専門研修 +10 回 ②差異なし	①職員育成計画を立て、青少年を取り巻く課題を把握し、事業企画や相談対応ができるよう取り組む。 ②訓練の実施のほか、マニュアルの見直しを定期的に行っていく。
財務	利用料収入および事業収入を増収を図り、自主財源を高めます。	①利用料収入 257 万円 (前年度予算比 20%増) ②事業収入 77 万円 (前年度予算比 2%増)	①231.47 万円 ②93.77 万円	①△25.53 万円 ②+16.77 万円	利用が少ない時間帯の促進、企業の利用誘致を中心とした広報PRに努め、利用料収入増を目指す。

平成27年度 横浜市青少年育成センター 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	45,656,000		45,656,000	45,656,000	0	横浜市より
利用料金収入	2,570,000		2,570,000	2,314,700	255,300	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)収入	778,000		778,000	937,709	△ 159,709	
自主事業収入	0		0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他()	0		0	0	0	
収入合計	49,004,000	0	49,004,000	48,908,409	95,591	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,946,000	0	26,946,000	26,131,020	814,980	(施設運携事業費)
給与・賞金	22,355,000		22,355,000	20,967,701	1,387,299	(施設運携事業費3,020,790-含む)
社会保険料	3,304,000		3,304,000	4,011,081	△ 707,081	(施設運携事業費568,045-含む)
通勤手当	603,000		603,000	553,862	49,138	(施設運携事業費39,330-含む)
健康診断費	96,000		96,000	63,218	32,782	(施設運携事業費5,394-含む)
勤労者福祉共済掛金	33,000		33,000	34,000	△ 1,000	(施設運携事業費4,000-含む)
退職給付引当金繰入額	555,000		555,000	501,158	53,842	
事務費	313,000	0	313,000	283,431	29,569	(施設運携事業費含む)
旅費	0		0	0	0	
消耗品費	103,000		103,000	33,985	69,015	事務用品(コピー用紙、文具、プリンタートナーなど)
会議贈い費	0		0	0	0	
印刷製本費	47,000		47,000	4,360	42,640	事業にかかるパンフレット印刷代
通信費	62,000		62,000	7,282	54,718	貸出事業にかかる通信費は、事業費に計上
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	82,000		82,000	202,044	△ 120,044	ノートパソコン、プロジェクター
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	9,000		9,000	14,700	△ 5,700	(施設運携事業費1,200-含む)、施設賠償保険
職員等研修費	0		0	0	0	事業実施に関する研修
振込手数料	10,000		10,000	21,060	△ 11,060	(施設運携事業費972-含む)時給職員貸金払込手数料
リース料	0		0	0	0	貸出事業にかかる経費として事業費に計上
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
事業費	7,137,000	0	7,137,000	7,902,573	△ 765,573	(施設運携事業費含む)
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	7,137,000		7,137,000	7,902,573	△ 765,573	相談事業、教室(講座)事業、貸室事業にかかる経費(事業スタッフ賃金、消耗品、諸謝金等)
自主事業費	0		0	0	0	
管理費	13,084,000	0	13,084,000	13,037,582	46,418	
光熱水費	0	0	0	0	0	施設負担金として、設備保全費に一括計上(関内ホール)
電気料金	0		0	0	0	
ガス料金	0		0	0	0	
水道料金	0		0	0	0	
清掃費	0		0	0	0	施設負担金として、設備保全費に一括計上(関内ホール)
修繕費	104,000		104,000	0	104,000	小破修繕対応費
機械整備費	0		0	0	0	施設負担金として、設備保全費に一括計上(関内ホール)
設備保全費	12,980,000	0	12,980,000	13,037,582	△ 57,582	施設負担金(関内ホール)
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	12,980,000		12,980,000	13,037,582	△ 57,582	施設負担金(12,886,000)、廃棄物処理費(151,582)
公益費	0		0	0	0	
公租公課	1,400,000	0	1,400,000	1,400,000	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	1,400,000		1,400,000	1,400,000	0	消費税、印紙税
印紙税	0		0	0	0	
その他()	0		0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	124,000	0	124,000	153,803	△ 29,803	
本部分	0		0	0	0	
当該施設分	124,000		124,000	153,803	△ 29,803	(施設運携事業費39,269-含む)、会計システム保守、動産保険負担金、税理士・社労士顧問料
二一ズ対応費	0		0	0	0	事業費内で調整
支出合計	49,004,000	0	49,004,000	48,908,409	95,591	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支	0			0		
管理許可・目的外使用許可収入	0			0		
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		